

教員情報

二瓶 正登 (NIHEI Masato)	
所属	人間教育学部 教育・心理学科 心理・文化専攻 大学院 人間科学研究科 心理臨床学専攻 ※臨床心理士
職名	講師

【学位・業績等】

有する学位	博士（心理学）
学位取得大学	専修大学大学院
主な担当科目	（学部）心理学概論、基礎心理学など （大学院）心理統計法特論、臨床心理学研究法特論
専門分野	学習心理学
主な研究テーマ	古典的条件づけにおける数理モデルの構築
学会・社会活動	日本心理学会、日本認知・行動療法学会、日本行動分析学会、日本不安症学会
主な業績 （教育・研究等）	<p><論文：筆頭著者></p> <p>Generalized Associative Model: A model for individual and averaged learning curves in Pavlovian conditioning, PsyArXiv, 2023</p> <p>ABA, ABC, and AAB renewal in fear conditioning using social stimuli and its quantitative description, Learning & Motivation, 84, 2023</p> <p>A model for recovery-from-extinction effects in Pavlovian conditioning and exposure therapy, Learning and Behavior, 2023</p> <p>The renewal effect in fear conditioning with aversive facial expression and negative sentences as unconditioned stimuli, Learning & Motivation, 74, 2021</p> <p>制止学習アプローチに対する古典的条件づけ研究からの批判的検討, 心理学評論, 66, 2024</p> <p>ベイズ統計の心身医学領域における具体的活用法ーベイズ統計を用いることの利点は何か？, 心身医学, 61, 2021</p> <p>不安と関連する障害における古典的条件づけの役割と意義ー古典的条件づけの諸現象と連合学習理論の臨床的応用ー, 不安症研究, 11, 2019</p> <p>Fear of Negative Evaluation Scale 日本語短縮版の因子構造, 信頼性および妥当性の再検討, 不安症研究, 10, 2018</p> <p><書籍></p> <p>認知行動療法辞典, 丸善出版, 2020（レスポナント条件づけの基礎研究節を担当）</p> <p>ドムヤンの学習と行動の原理, 北大路書房, 2022(第3章及び第9章の翻訳)</p> <p><受賞歴></p> <p>2018年 第10回日本不安症学会学術大会若手優秀演題賞（筆頭発表者）</p> <p>2019年 日本認知科学会論文賞（第二著者）</p> <p>2020年 日本心理学会特別優秀発表賞（筆頭発表者）</p>